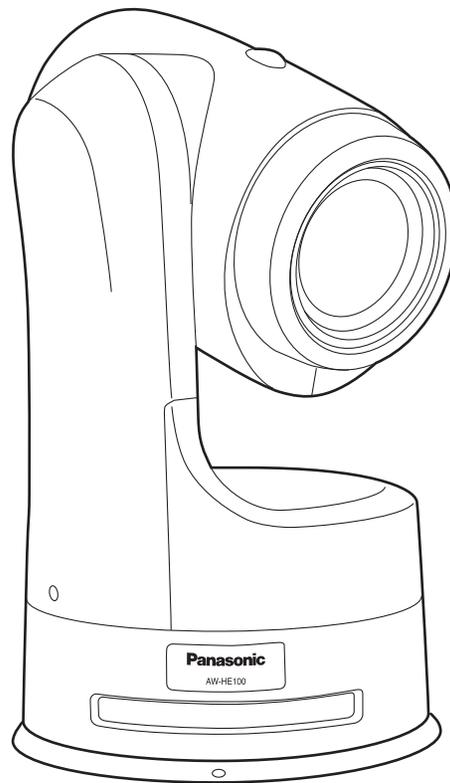


Panasonic®

工事説明書

HDインテグレートドカメラ

品番 **AW-HE100N**



取扱説明書別添付

保証書別添付

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全のご注意	3	設置	25
付属品	8	セーフモード	32
概要	8	接続	33
ワイヤレスリモコンについて	9	本機を選択	36
ワイヤレスリモコンの準備	9	リミッターについて	37
特長	10	リミッターの設定と解除	38
設置上のご注意	11	故障と思ったら	39
使用上のお願い	12	お手入れのしかた	41
各部の名前とはたらき	13	消耗品の交換	41
設置の前に	17	外形寸法図	42
リモコン ID の設定	18	定格	43
電源の入れかたと切りかた	19	保証とアフターサービス	45
映像フォーマットの設定	21		
各種設定	24		

ご注意

- 本機の説明書は、工事説明書（本書）と取扱説明書に分かれています。
本機を設置する前に、必ず工事説明書をお読みいただき、正しく設置してください。
- 本書では AW-HE100N を「AW-HE100」と記載しています。
同様に、AW-RP655N を「AW-RP655」、AW-RP555N を「AW-RP555」、AW-RP400N を「AW-RP400」、
AW-IF400N を「AW-IF400」、AW-CB400N を「AW-CB400」と記載しています。

対応コントローラー

- AW-RP655 ● AW-RP555
- AW-RP400+AW-IF400+AW-CB400
(AW-RP400、AW-IF400、AW-CB400 を組み合わせたシステム)

※コントローラーは、本機に対応するためのバージョンアップが必要な場合があります。
販売店にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●設置・使用方法について

 警告		
工事は販売店に依頼する  工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。 ●必ず販売店に依頼してください。	湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない  火災や感電の原因となります。 禁止	不安定な場所に設置しない  落下や転倒によるけがや事故の原因となります。 禁止

安全上のご注意

必ずお守りください

●設置・使用方法について

警告

<p>付属品・オプションは指定の製品を使用する</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>	<p>指定以外の電源や電圧で使用しない</p> <p> 指定以外の電源や電圧を使用すると、火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む</p> <p> 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。</p> <p>●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
<p>分解しない、改造しない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>分解禁止</p> <p>●修理や点検は、販売店に連絡してください。</p>	<p>電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因となります。</p>	<p>ケーブルなどは引っ張らない</p> <p> 火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>ケーブルなどを傷つけない</p> <p> 重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>	<p>コンセントや配線機器の定格を超える使用や、交流 100V 以外での使用はしない</p> <p> たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>アースを確実に接続する</p> <p> 付属の電源コードはアース端子付き3芯プラグです。アースに接続された3極コンセントに接続してください。アースの接続がされていないと、故障や漏電による感電の原因となります。</p> <p>●販売店に相談してください。</p>	<p>電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。</p>	<p>移動させる場合は外部の接続線を外す</p> <p> 電源コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。</p> <p>●移動させるときは、電源スイッチを切り、外部接続ケーブルを外したことを確認してください。</p>

安全上のご注意

必ずお守りください

●設置・使用方法について

警告

<p>機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない</p> <p> 水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。</p> <p>水ぬれ禁止</p> <p>●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>	<p>水場で使用しない</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>異物を入れない</p> <p> 水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
<p>本機の上に重いものを置かない</p> <p> バランスが崩れて倒れたり、落下したりするなど、けがの原因となります。また、火災、感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>落としたり、破損させたりしない</p> <p> 本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。</p> <p>●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>	<p>振動や強い衝撃を与えない</p> <p> 火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>開口部（オプションスロット部など）に手を入れない</p> <p> けがや感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>燃えやすい物の近くに設置しない</p> <p> ハロゲンランプを設置する場合は、燃えやすい物の近くに設置すると、発熱による火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>可動部には近づかない</p> <p> 指や身体を絶対に近づけないようにしてください。けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>

注意

<p>ラック、本棚など密閉した中に入れない</p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>		
---	--	--

安全上のご注意

必ずお守りください

●電池について



電池は誤った使い方をしない



禁止

- ⊕ と ⊖ は逆に入れない
- 乳幼児の手の届くところに置かない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- 著しく温度が高くなるところに電池や電池の入った機器を放置しない
(直射日光の当たるところ、ヒーターの近く、窓を閉めきった車や車のトランクの中など)
- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- 加熱・分解したり、水などの液体、火の中へ入れたりしない
- 乾電池は充電しない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 指定の電池以外は使わない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない

●取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災やけが、周辺汚損の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする



- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。
- 電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す



そのまま機器の中に放置すると、液もれ・発熱・破裂の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

●異常時の処理について

警告

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物破壊の原因となります。

- 放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

●お手入れについて

警告

お手入れのときは電源を切る



感電の原因となります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

付属品

付属品をご確認ください。

工事説明書	1	金具取付ねじ (平ワッシャー／スプリングワッシャー付き)	
取扱説明書 (CD-ROM)	1	M4 × 8 mm.....	4
ワイヤレスリモコン	1	ケーブルカバー用ねじ (皿ねじ)	
単 3 形乾電池 (別売) を 2 個使用します。		M3 × 6 mm.....	2
電源コード (2 m).....	1	ねじ隠しシート.....	2
設置面用金具 (床・天井側)	1	ゴム脚.....	4
ケーブルカバー.....	1	ゴム脚用ねじ (黒色)	
		M4 × 6 mm.....	4

概要

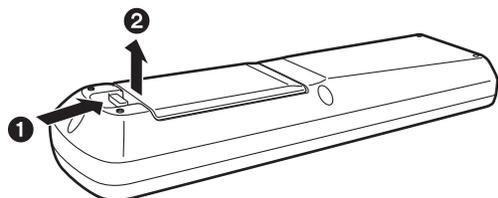
本機は、回転台とズームレンズを一体型にしたマルチフォーマットカメラです。
カメラ・レンズ・回転台を一体型にすることで、従来よりも設置が簡単になりました。
付属品のワイヤレスリモコンから遠隔操作ができます。

ワイヤレスリモコンについて

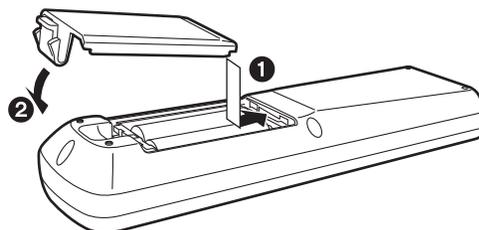
- 本機から 10 m 以内の場所でワイヤレスリモコンを操作してください。
- ワイヤレスリモコンは、本機との角度によっては動作しない場合があります。
ワイヤレスリモコン信号受光部（以下、受光部）が見える場所から、ワイヤレスリモコンの信号発光部を受光部に向けて操作してください。
- 本機を蛍光灯やプラズマモニターなどの近くに設置した場合や、太陽の光が当たる場合、それらの光の影響によってワイヤレスリモコンで操作できないことがあります。
必ず以下の方法で設置・使用してください。
 - ・ 蛍光灯やプラズマモニター、太陽などからの光が受光部に入らないようにする
 - ・ 蛍光灯やプラズマモニターなどから離れた場所に設置する
 - ・ 本機から 3 m 以内の場所でワイヤレスリモコンを操作する
 - ・ 有線接続のコントローラーを使用する
- ワイヤレスリモコンは、電池を抜いても 10 分間程度は操作対象の選択（最後に押した [CAM1] ～ [CAM4] ボタン）を記憶していますが、さらに時間がたつと [CAM1] ボタンを押した状態にリセットされます。

ワイヤレスリモコンの準備

1 電池カバーを外す



3 電池カバーを取り付ける

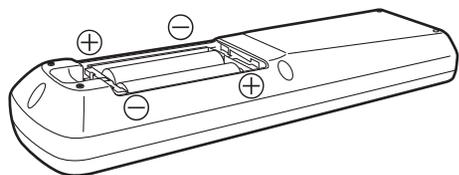


2 乾電池を入れる

単 3 形乾電池（別売）を 2 個使用します。

使用可能な電池：

単 3 形、AA、R6、R6P、R6PU、UM3、LR6
⊕ と ⊖ を確認し、乾電池の ⊖ 側を先に入れてください。



不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

特長

マルチフォーマットに対応

- 1080i、720p、480iのフォーマットをメニューで切り替えが可能。
SDフォーマットのシステムからHDフォーマットのシステムへの移行も、スムーズに行えます。
- SDフォーマットでは、アスペクト比 16:9 または 4:3 の選択が可能。

1/3型 3CCD・高性能 13倍ズームレンズを採用

- 14ビット A/D (Analog to Digital) コンバーターと 19ビットプロセスの DSP (Digital Signal Processor) を搭載。
多彩な映像処理で、高画質な映像が得られます。
- 新開発ワイドプログレッシブ CCD を搭載。受光面積の広い 1/3 型 CCD を採用しているため、さまざまな撮影条件下で、高画質な映像が得られます。
- HD 映像の撮影用に開発された大口径レンズは、ワイド端で 32.5 mm (35 mm 換算) の広角を実現。
幅広い用途で鮮明な映像を再現します。

高性能回転台との一体型で快適操作

- 60°/s の高速動作。
- パン範囲：±175°以上、チルト範囲：-40°～+210°以上の広い旋回角度。
- 騒音レベル NC30 (30°/s 動作時)、NC35 (60°/s 動作時) の静かな動作。
- 最大 100 ポジションのプリセットメモリーが可能。
(使用するコントローラーによって、プリセットメモリー数は異なります。)

現行の当社製コントローラーとの高い親和性で、フレキシブルなシステム構築を実現

- 現行の当社製各種コントローラー (AW-RP655、AW-RP555、AW-RP400 + AW-IF400 + AW-CB400) から最大 5 台までの本機の操作が可能。(コントローラーは、本機に対応するためのバージョンアップが必要な場合があります。本機とコントローラー間の最大距離は 1000 m です。映像信号の延長には外部機器などでの対応が別途必要です。)
現行の当社製カメラや回転台システムとの併用も可能で、既存システムを活用した柔軟なシステム構築が行えます。

回転台・カメラ・レンズ一体型で、簡単設置

- カメラ・レンズ・回転台を一体型にすることで、設置工程を大幅に短縮。

簡単操作なワイヤレスリモコンの標準付属

- 本機を最大 4 台まで操作できるワイヤレスリモコンを標準で付属。
各種機能の設定や切り替えも、メニュー画面を見ながら簡単に行うことができます。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*

法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

設置上のご注意

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

設置場所について

お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な天井面などをよく選んで、設置してください。

- 強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に設置してください。
強度が不十分な天井に設置する場合は、十分な補強を施してください。

以下のような場所での設置および使用はしないでください。

- 壁面（横向きの設置）
- 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
- 厨房など蒸気や油が多い場所
- 屋外や +40℃以上の暑い場所
- 0℃以下の寒い場所
- 湿度が 85%以上の場所
- プールなど、薬剤を使用する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 放射線や X 線および強力な電波や磁気が発生する場所
- 車両や船舶などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません。）
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所

長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。
- 設置場所への放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

本機の設置には、必ず付属品を使用してください

- 本機の設置には、必ず付属の取付金具、取付ねじを使用してください。
- 指定方法以外の取り付けは行わないでください。
- 本機に付属の取付金具や取付ねじは、改造しないでください。

設置面用金具の取付ねじは、別途ご用意ください

設置面用金具の取付ねじは、付属されておられません。六角ボルト（M6）およびスプリングワッシャー、平ワッシャー、また必要に応じてナットをご用意ください。

設置用ねじの締めつけについて

- ねじやボルトは、設置場所の材質や構造物に合わせて締めつけてください。
- ねじやボルトを締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、締められていることを確認してください。
- 所定の工具にて確実に締めつけてください。

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください

- 本機の取り外しかたについては、「本機の取り外し」（31ページ）を参照してください。

設置または撤去を行うときは、必ず台座部分を持って行ってください

- 回転部分を持つたり、回転部分を手で回すと、故障の原因になります。

本機にフィルター、フード、エクステンダーなどを取り付けないでください

この機器は、主電源コンセントの近くに設置し、簡単に電源プラグの抜き差しができる状態にしてください

電源プラグを 2 ピンに変換して使用される場合は、販売店にご相談のうえ、アース線付きのプラグアダプターを使用し、必ず接地接続を行ってください。

付属の電源コードは、定格が AC 125 V 以下になりますので、AC 120 V 以上 AC 240 V 以下でご使用になる場合は、販売店にご相談のうえ、電源コードを別途ご用意ください。

本機の CONTROLLER 端子と、一般の LAN 回線または電話回線を接続しないでください

- 故障の原因になります。

使用上のお願い

撮影は適正な照明で

- 美しいカラー映像を得るには、適正な照明で撮影してください。
- 蛍光灯の照明では、正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。

高輝度の被写体では

- 光った被写体などを撮影すると CCD カメラ特有のスミア現象が発生します。
スミア：電球など光った高輝度の被写体の上下（縦方向）に光の筋が発生する現象

オート機能使用のときは

- 蛍光灯下の ATW（自動追尾式ホワイト調整）機能の使用は、ホワイトバランスが変動する場合があります。
- 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。その場合は、マニュアル設定にして手でフォーカスを合わせてください。
- ゲインやアイリスがオート設定のとき、明るい被写体を撮影すると適正な明るさにならない場合があります。その場合は、シャッタースピードをマニュアル設定にして調整してください。

ズーム操作とフォーカスについて

フォーカスがマニュアル設定のとき、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。本機はその補正機能を持ちます。（ズーム操作中のフォーカス補正機能）
この機能は出荷状態では ON になっています。
この機能を OFF にした場合は、ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

コンポジット映像信号のアスペクト比について

- 映像フォーマットが 1080i または 720p のとき、コンポジット映像信号のアスペクト比は 16:9（スクイーズ）に固定されます。

電源を入れたときのズームについて

本機の電源を入れたとき、ズーム、フォーカス、アイリスは電源を切る直前の位置に戻ります。（フォーカスとアイリスは、マニュアル設定の場合）
しかし動作中に電源コードを抜かれた場合などは、戻らないことがあります。

本機にはセーフモード機能があります

- セーフモードは、人や物への危害、回転台の損傷を防止するための機能です。
詳細については、「セーフモードについて」（32 ページ）を参照してください。

ケーブルの抜き差しは電源を切って

- ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

取り扱いはていねいに

- 落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

使用しない場合は

- 使用しないときは電源を切ってください。
使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。

光学系部には触れないで

- 光学系部はカメラの“命”。
光学系には絶対に触れないでください。
万一、ホコリがついた場合は、カメラ用のブローヤーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

フィルター、フードなどを取り付けないで

- フィルター、フード、エクステンダーなどを取り付けないでください。

持ち運ぶときは台座を持って

- カメラ部や回転ヘッドを持たないでください。故障の原因になります。

回転部分を手で回さないで

- 回転部分を手で回すと、故障の原因になります。

湿気、ホコリの少ない所で

- 湿気、ホコリの多い所は、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

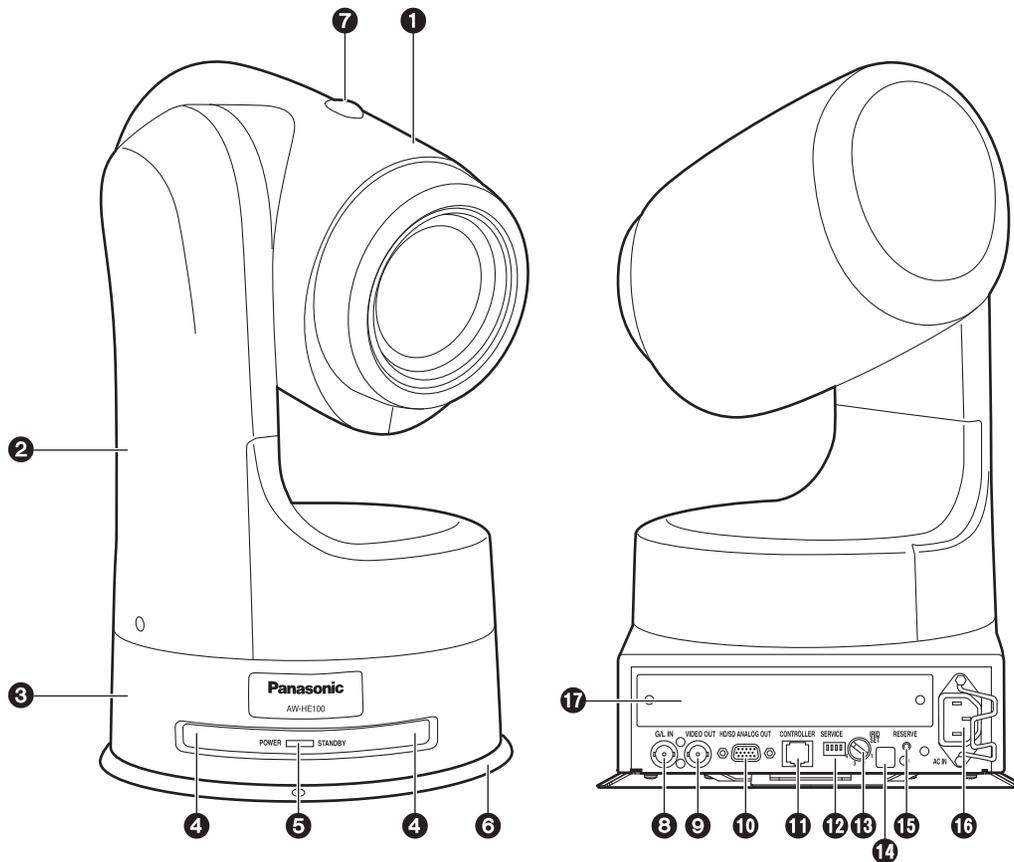
使用温度範囲は

- 0℃以下の寒い所や +40℃以上の暑い所では画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので、避けてください。

廃棄のときは

- 本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

各部の名前とはたらき



① カメラ部

上下方向に回転します。

② 回転ヘッド

水平方向に回転します。

③ 台座

④ ワイヤレスリモコン信号受光部（前面）

⑤ 状態表示ランプ

本機の状態によって、次のように点灯します。

橙色：待機（STANDBY）状態

緑色：電源 ON 時

赤色：機器異常

緑色で 2 回点滅：

電源 ON 時に、付属のワイヤレスリモコンからリモコン ID が一致する信号を受信しているとき

橙色で 2 回点滅：

電源 ON 時に、付属のワイヤレスリモコンからリモコン ID が異なる信号を受信しているとき

各部の名前とはたらき

⑥ 取付金具（装着済み）

⑦ タリーランプ

タリーランプ使用設定が「On」に設定されている場合のみ、コントローラーの制御で点灯・消灯します。

⑧ G/L IN 端子

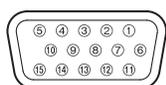
ゲンロック信号の入力端子です。
本機は BBS または VBS に対応します。
ケーブル補償器（AW-RC400）などの G/L OUT 端子に接続します。

⑨ VIDEO OUT 端子

カメラのコンポジット映像信号の出力端子です。
モニターなどに接続します。
接続ケーブルは、BNC 同軸ケーブルをご用意ください。

⑩ HD/SD ANALOG OUT 端子

カメラの HD/SD コンポーネント映像信号の出力端子です。
接続ケーブルは、D-SUB 15 ピン接続ケーブル（VGA ケーブル）または、D-SUB 15 ピンと BNC 同軸コネクタの変換ケーブルをご用意ください。
高品位なケーブルをご使用ください。



ピン番号	信号名
1	Pr (Y/C モード時 C)
2	Y (Y/C モード時 VBS)
3	Pb (Y/C モード時 Y)
4 ~ 15	GND

⑪ CONTROLLER 端子

カメラ / 回転台の制御信号の入力端子です。
コントローラーの [TO PAN/TILT HEAD] 端子に接続します。

⑫ SERVICE スイッチ

メンテナンス用のスイッチです。
通常はすべて「OFF」の位置にしておきます。

SERVICE



⑬ IR ID SET スイッチ

付属のワイヤレスリモコンのリモコン ID を選択します。
このスイッチの [1] ~ [4] は、ワイヤレスリモコンの [CAM1] ~ [CAM4] ボタンに対応しています。

⑭ ワイヤレスリモコン信号受光部（背面）

⑮ RESERVE ボタン

メンテナンス用の予約ボタンです。
通常は使用しません。

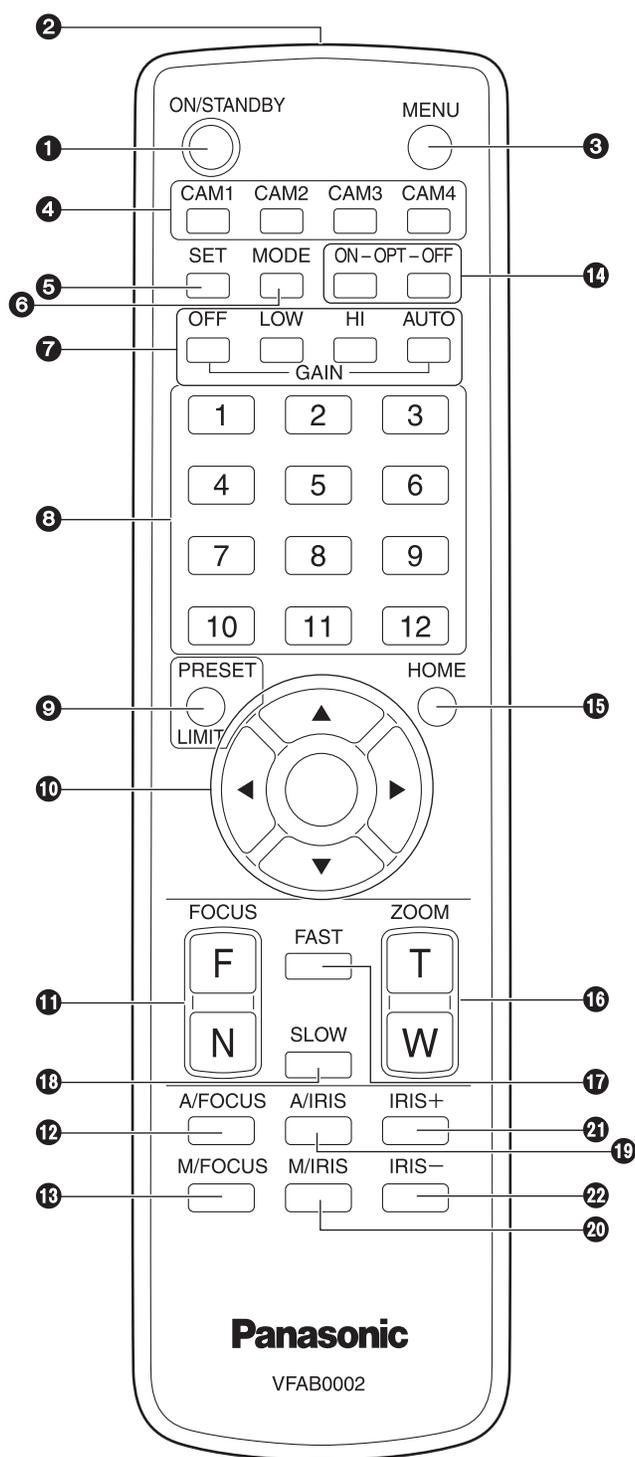
⑯ AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

⑰ オプションスロット

各部の名前とはたらき

ワイヤレスリモコン



① ON/STANDBY ボタン

2 秒間押すごとに、本機の電源 ON と待機状態 (STANDBY) を切り替えます。

② 信号発光部

③ MENU ボタン

2 秒間押すごとに、本機のメニュー表示とメニュー終了を切り替えます。

また、このボタンと PRESET、LIMIT ボタン、パン・チルトボタン ([▲] [▼] [◀] [▶]) の操作で、パン・チルトの可動範囲の制限 (リミッター) の設定と解除を行います。

詳しくは、「リミッターの設定と解除」(38 ページ) を参照してください。

④ CAM1 ~ CAM4 ボタン

操作する本機を選択します。

一度選択すると、以後は選択した本機に対して操作が可能になります。

⑤ SET ボタン

ホワイトバランス調整で AWC A メモリーまたは AWC B メモリーを選択しているとき、このボタンを 2 秒間押すと、ブラックバランスとホワイトバランスを自動調整して、選択中のメモリーに登録します。

また、このボタンを短く (2 秒未満) 押すと、ホワイトバランスのみを自動調整して、選択中のメモリーに登録します。

⑥ MODE ボタン

本機から出力する映像信号を切り替えます。

このボタンを押すごとに、カラーバー信号とカメラ映像の信号が切り替わります。

⑦ GAIN ボタン [OFF] [LOW] [HI] [AUTO]

ゲインを設定します。

[OFF]、[LOW]、[HI] ボタンで、ゲインアップを 3 段階で設定できます。

また、[AUTO] ボタンを押すと AGC 機能が動作し、光量によりゲインが自動で調整されます。

AGC 機能の最大ゲインは、メニューで設定できます。

⑧ プリセットメモリー呼び出しボタン [1] ~ [12]

本機のプリセットメモリー No.1 ~ 12 に登録されている、本機の向きなどの情報を呼び出し、再現します。ワイヤレスリモコンからプリセットメモリー No.13 以上を呼び出すことはできません。

各部の名前とはたらき

9 PRESET、LIMIT ボタン

プリセットメモリーの登録やリミッターの設定・解除をします。

このボタンを押しながらプリセットメモリー呼び出しボタンを押すと、現在の向きなどの情報を登録します。プリセットメモリー呼び出しボタンの [1] ~ [12] は、本機のプリセットメモリー No.1 ~ 12 に対応しています。

また、このボタンと MENU ボタン、パン・チルトボタン ([▲] [▼] [◀] [▶]) の操作で、パン・チルトの可動範囲の制限 (リミッター) の設定と解除を行います。

詳しくは、「リミッターの設定と解除」(38 ページ) を参照してください。

10 パン・チルトボタン/メニュー操作ボタン

[▲] [▼] [◀] [▶] [O]

本機の向きを変えます。

[▲] [▼] ボタンで上下方向 (チルト)、[◀] [▶] ボタンで左右方向 (パン) に動きます。

このとき [O] ボタンは、機能しません。

[▲] または [▼] ボタンと、[◀] または [▶] ボタンを同時に押すと、斜め方向に動きます。

本機がメニューを表示しているときは、メニュー操作を行います。

[▲] [▼] ボタンで項目の選択、[◀] [▶] ボタンで値の変更を行います。

選択した項目にサブメニューがあるときは、[O] ボタンまたは [▶] ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

メニュー表示中は、[O] ボタンと [▶] ボタンの機能は同じです。

値の変更が可能なときに [O] ボタンを押すと、値が変更されますので、ご注意ください。

11 FOCUS ボタン [F] [N]

レンズのフォーカスがマニュアル設定のとき、手動でレンズのフォーカスを調整します。

[F] ボタンで遠く (Far) へ、[N] ボタンで近く (Near) へフォーカスを調整します。

12 A/FOCUS ボタン

レンズのフォーカスを自動で調整するように設定します。

13 M/FOCUS ボタン

レンズのフォーカスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、FOCUS ボタン ([F]、[N]) で行います。

14 OPT ボタン [ON] [OFF]

将来の機能拡張用のボタンです。現在は使用しません。

15 HOME ボタン

2 秒間押すと、本機の向き (パン・チルト) を基準位置に戻します。

16 ZOOM ボタン [T] [W]

レンズのズームを調整します。

[T] ボタンで望遠 (Tele) へ、[W] ボタンで広角 (Wide) へレンズのズームを調整します。

17 FAST ボタン

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、高速側に切り替えます。

プリセットメモリーを呼び出したときのパン・チルトの動作速度も同様です。

18 SLOW ボタン

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、低速側に切り替えます。

プリセットメモリーを呼び出したときのパン・チルトの動作速度も同様です。

19 A/IRIS ボタン

レンズのアイリスを光量に合わせて自動で調整するように設定します。

20 M/IRIS ボタン

レンズのアイリスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、IRIS + ボタンと IRIS - ボタンで行います。

21 IRIS + ボタン

レンズのアイリスを開く方へ調整します。

22 IRIS - ボタン

レンズのアイリスを閉じる方へ調整します。

ご注意

- アイリスがマニュアル調整のときにゲインを自動調整にすると、アイリスは自動的に自動調整に変更されます。その後ゲインをマニュアル調整に戻すと、アイリスも元の値に戻ります。
- ゲインが自動調整のときにアイリスをマニュアル調整にすると、ゲインは自動的に前回のゲイン値に変更されます。

設置の前に

本機の工事は、下記の順序に従って行ってください。

1 スイッチの設定 (リモコン ID)

(出荷状態：1)

2 映像フォーマットの選択

(出荷状態：1080i、Y/Pb/Pr)

3 各種設定

● 吊り下げ設置／据え置き設置の選択

カメラを吊り下げて設置するか、据え置き設置するかによって選択します。

(出荷状態：据え置き設置)

● 映像自動逆転の選択

チルト動作が指定された角度になると、映像を逆転する機能を選択します。

(出荷状態：逆転を行わない)

● 映像自動逆転を開始するチルトの角度

(出荷状態：90度)

● タリーランプ使用の選択

コントローラーのタリー制御信号でタリーランプを点灯または消灯する機能のON/OFFを選択します。

(出荷状態：使用する)

● ランディングの選択

ランディング特性をソフトまたはジャストから選択します。

ソフトはジャストより、停止操作による振動が少ない動作を行います。(出荷状態：ソフトランディング)

4 設置

5 使用する本機の種類

6 リミッターの設定

- **2**と**3**は、映像信号出力端子 (VIDEO OUT 端子またはHD/SD ANALOG OUT 端子) に接続したモニターに表示されるメニューを見ながら、付属のワイヤレスリモコンで操作します。

- **5**と**6**は、付属のワイヤレスリモコンで操作します。

- コントローラーを接続している場合、**5**と**6**はコントローラーからも操作できます。

詳しくは、コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

重要なお知らせ

- コンポジット信号以外でモニター出力すると、モニターの種類や変更前後の映像フォーマットによっては、メニューが表示されず、操作できなくなる場合があります。

映像フォーマットの設定を行うときは、コンポジット信号 (VIDEO OUT 端子) でモニター出力をするようにおすすめいたします。

- コントローラーは、AW-HE100 に対応するためのバージョンアップが必要な場合があります。

下記の調整については、本機の取扱説明書をご覧ください。コントローラーを接続している場合、一部の調整はコントローラーの操作でも行うことができます。

詳しくは、コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

- 撮影モードの選択
- ホワイトバランス調整
- ブラックバランス調整
- 黒レベル調整
(複数のカメラを使用する場合に必要)
- ゲンロック調整
(外部信号に同期させて使用する場合に必要)

リモコン ID の設定

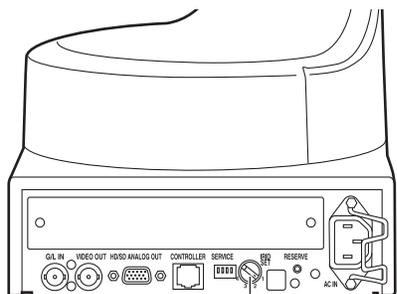
付属のワイヤレスリモコンで、本機を最大 4 台まで操作することができます。

ワイヤレスリモコンの [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのどのボタンを押したときに、どの本機を選択するかを設定します。

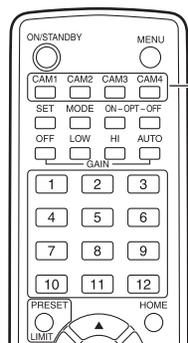
- 複数の本機を使用する場合は、それぞれ異なるリモコン ID に設定してください。
- 本機を 1 台で使用する場合は、特に変更の必要がなければ、リモコン ID を「1」に設定してください。

設定方法

本機背面の IR ID SET スイッチを回して、リモコン ID「1」～「4」を選択します。「1」～「4」がワイヤレスリモコンの [CAM1] ~ [CAM4] ボタンに対応しています。
(出荷時は、「1」に設定されています。)



IR ID SET スイッチ



[CAM1] ~ [CAM4] ボタン

電源の入れかたと切りかた

■ 電源の入れかた

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

- 1 接続している機器すべての電源スイッチを ON にする
 - 本機には、電源スイッチがありません。
本機に電源が供給されると、状態表示ランプが橙色に点灯します。
- 2 ワイヤレスリモコンの [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押し、本機を選ぶ
- 3 ワイヤレスリモコンの [ON/STANBY] ボタンを 2 秒間押す
本機の電源が入り、初期設定動作を行います。
 - このとき本機の状態表示ランプは、緑色に点灯します。
- 4 本機が複数台あるときは、必要に応じて手順 2 ~ 3 を繰り返す

本機の状態表示ランプは、リモコン ID が一致する信号を受信したときは緑色に点滅し、リモコン ID が異なる信号を受信したときは橙色に点滅します。

コントローラーを接続している場合

- 1 接続している機器すべての電源スイッチを ON にする
 - 本機には、電源スイッチがありません。
本機に電源が供給されると、状態表示ランプが橙色に点灯します。
- 2 コントローラーの [OPERATE] スイッチを ON にする
コントローラーに接続しているすべてのカメラ（本機を含む）の電源が入り、初期設定動作を行います。
 - このとき本機の状態表示ランプは、緑色に点灯します。

初期設定動作は、1 台につき約 30 秒かかる場合があります。この間、本機の操作はできません。

コントローラーの [OPERATE] スイッチを ON にする前に、必ず接続している機器すべての電源スイッチを ON にしてください。

詳しくは、コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

電源の入れかたと切りかた

■ 電源の切りかた

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

- 1 ワイヤレスリモコンの [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押して、本機を選ぶ
- 2 ワイヤレスリモコンの [ON/STANBY] ボタンを2秒間押す
本機の電源が切れます。
 - このとき本機の状態表示ランプは、橙色に点灯します。
- 3 本機が複数台あるときは、必要に応じて手順 1 と 2 を繰り返す
- 4 接続している機器すべての電源スイッチを OFF にする

コントローラーを接続している場合

- 1 コントローラーの [OPERATE] スイッチを OFF にする
コントローラーに接続しているすべてのカメラ（本機を含む）の電源が切れます。
 - このとき本機の状態表示ランプは、橙色に点灯します。
- 2 接続している機器すべての電源スイッチを OFF にする

詳しくは、コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

映像フォーマットの設定

アナログコンポーネント出力の映像フォーマットと、アナログコンポーネント信号を設定します。

- 出荷時の設定は、1080i、Y/Pb/Pr に設定されています。
- SDI 出力カード AW-HHD100 を増設した場合は、その出力も含まれます。

設定の前に

1 コンポジット信号入力または、マルチフォーマットのコンポーネント信号入力に対応したモニターを、本機に接続する

2 本機とモニターの電源を入れる

映像フォーマットの設定は、設置後も行うことができますが、コンポジット信号以外でモニター出力していると、モニターの種類や設定変更後の映像フォーマットによっては、メニューが表示されず、操作できなくなる場合があります。

映像フォーマットの設定を行うときは、コンポジット信号からモニター出力することをおすすめします。

映像信号出力端子（VIDEO OUT 端子または HD/SD ANALOG OUT 端子）に接続したモニターに表示されるメニューを見ながら、付属のワイヤレスリモコンで操作します。

メニュー画面の基本操作

メニューの操作	リモコンの操作
メインメニューを表示する	[MENU] ボタンを 2 秒間押す。
項目を選ぶ	[▲] または [▼] ボタンを押す。
サブメニュー画面を表示させる	[O] または [▶] ボタンを押す。
1 つ前のメニュー画面に戻る	[Return] を点滅させて [O] または [▶] ボタンを押す。
設定値を変更する	[◀] または [▶] ボタンを押す。
メニュー操作を終了する	[MENU] ボタンを 2 秒間押す。

■ 設定方法

1 [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押して、本機を選択する

2 [MENU] ボタンを 2 秒間押す
メインメニューが表示されます。

```
** HE100 menu **  
  
Pan Tilt Head Setting  
Camera Setting
```

3 [▲] または [▼] ボタンを押して、「Camera Setting」を点滅させる

4 [O] または [▶] ボタンを押す

サブメニュー「Camera Setting」が表示されます。

```
** Camera Setting **  
  
Halogen  
Fluorescent  
Daylight  
User  
  
Return
```

5 [▲] または [▼] ボタンを押して、「Halogen」を点滅させる

[Return] を点滅させて [O] または [▶] ボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

映像フォーマットの設定

6 [○] または [▶] ボタンを押す

サブメニュー「Halogen Mode Set」が表示されます。
(Halogen、Fluorescent、Daylight、Userのいずれを選んで設定を行っても、映像フォーマットとコンポーネント信号の設定は共通です。)

```
** Halogen Mode Set **  
  
Brightness Set  
Color Set  
G/L, Setup Set  
Other Set  
  
Initialize  
  
Return
```

7 [▲] または [▼] ボタンを押して、「Other Set」を点滅させる

8 [○] または [▶] ボタンを押す

サブメニュー「Other Set」が表示されます。

```
** Other Set **  
  
Focus           Auto  
Iris            Auto  
Format          1080i  
Aspect          ---  
Status          Off  
Component       ---  
Focus ADJ With Zoom  On  
  
Return
```

映像フォーマットの設定

設定値：1080i、720p、480i、480psF

9 [▲] または [▼] ボタンを押して、「Format」の値を点滅させる

10 [◀] または [▶] ボタンを押して、「Format」の値を変更する

11 [▲] または [▼] ボタンを押す

「Change Setting ?」が表示されます。

```
** Other Set **  
  
Focus           Auto  
Iris            Auto  
Format          480i  
-----  
Change Setting?  
  
O.K.  
CANCEL  
-----  
Return
```

12 [▲] または [▼] ボタンを押して、「O.K.」を点滅させる

値の変更をしない場合は、「CANCEL」を点滅させて、
[○] または [▶] ボタンを押します。

13 [○] または [▶] ボタンを押す

映像フォーマットが設定され、サブメニュー「Other Set」に戻ります。

このとき実際に映像フォーマットも切り替わります。

映像フォーマットの設定

コンポーネント信号の設定

設定値：Y/Pb/Pr、Y/C

- 映像フォーマットが 1080i、720p のときは「---」と表示され、設定ができません。

14 [▲] または [▼] ボタンを押して、「Component」を点滅させる

```
** Other Set **  
  
Focus           Auto  
Iris            Auto  
Format          480i  
Aspect         16:9  
Status         Off  
Component       Y/Pb/Pr  
Focus ADJ With Zoom On  
  
Return
```

15 [◀] または [▶] ボタンを押して、「Component」の値を変更する

```
** Other Set **  
  
Focus           Auto  
Iris            Auto  
Format          480i  
Aspect         16:9  
Status         Off  
Component       Y/C  
Focus ADJ With Zoom On  
  
Return
```

アスペクト比の設定

設定値：16:9、4:3

- 映像フォーマットが 1080i、720p のときは「---」と表示され、設定ができません。
またこのとき、コンポジット信号のアスペクト比は 16:9 (スクイーズ) に固定されます。

16 [▲] または [▼] ボタンを押して、「Aspect」を点滅させる

```
** Other Set **  
  
Focus           Auto  
Iris            Auto  
Format          480i  
Aspect         16:9  
Status         Off  
Component       Y/Pb/Pr  
Focus ADJ With Zoom On  
  
Return
```

17 [◀] または [▶] ボタンを押して、「Aspect」の値を変更する

```
** Other Set **  
  
Focus           Auto  
Iris            Auto  
Format          480i  
Aspect         4:3  
Status         Off  
Component       Y/Pb/Pr  
Focus ADJ With Zoom On  
  
Return
```

18 [MENU] ボタンを 2 秒間押す

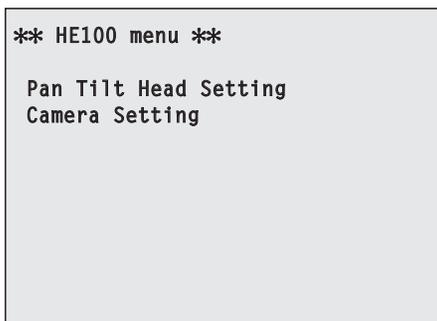
メニュー表示を終了します。

各種設定

ここに記載されている各種設定は、「Pan Tilt Head Setting」メニューで行います。

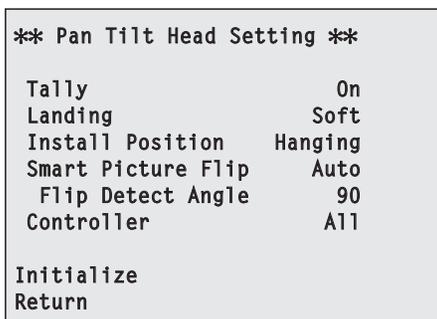
1 [CAM1]～[CAM4] ボタンのいずれかを押して、本機を選択する

2 [MENU] ボタンを 2 秒間押す
メインメニューが表示されます。



3 [▲] または [▼] ボタンを押して、「Pan Tilt Head Setting」を点滅させる

4 [○] または [▶] ボタンを押す
サブメニュー「Pan Tilt Head Setting」が表示されます。



5 [▲] または [▼] ボタンを押して、設定したい項目の値を点滅させる

- 吊り下げ設置／据え置き設置の選択：
Install Position
- 映像自動逆転の選択：Smart Picture Flip
- 映像自動逆転を開始するチルトの角度：
Flip Detect Angle
- タリー制御の選択：Tally
- ランディングの選択：Landing

6 [◀] または [▶] ボタンを押して、項目の値を変更する

7 [MENU] ボタンを 2 秒間押す
メニュー表示を終了します。

■ 吊り下げ設置／据え置き設置の選択

「Install Position」の値を変更します。

本機を吊り下げて設置するか、据え置き設置するかによって選択します。

吊り下げ設置の場合：Hanging

据え置き設置の場合：Desktop

■ 映像自動逆転の選択

「Smart Picture Flip」の値を変更します。

チルト動作が指定された角度になると、映像を逆転する機能を選択します。

映像を逆転する：Auto

映像を逆転しない：Off

■ 映像自動逆転を開始するチルトの角度

「Flip Detect Angle」の値を変更します。

チルトの角度を設定します。

■ タリーランプ使用の選択

「Tally」の値を変更します。

コントローラーのタリー制御信号によってタリーランプを点灯／消灯する機能の ON/OFF を選択します。

使用する：On

使用しない：Off

■ ランディングの選択

「Landing」の値を変更します。

ランディング特性を選択します。

ソフト：Soft

ジャスト：Just

ソフトはジャストより、停止操作による振動が少ない加減速を行います。

設置

ここでは吊り下げ設置の手順で説明していますが、据え置き設置の場合も同じ要領です。

はじめに、設置面用金具（付属品）を設置面に取り付けてください。

次に、落下防止ワイヤーを設置面用金具に取り付けてから、本機を設置面用金具に取り付けます。

■ 設置面に設置面用金具を取り付ける

- アンカーボルトを基本に対応してください。

1 コンクリート天井にアンカーボルトを打ち込む（M8：4本）

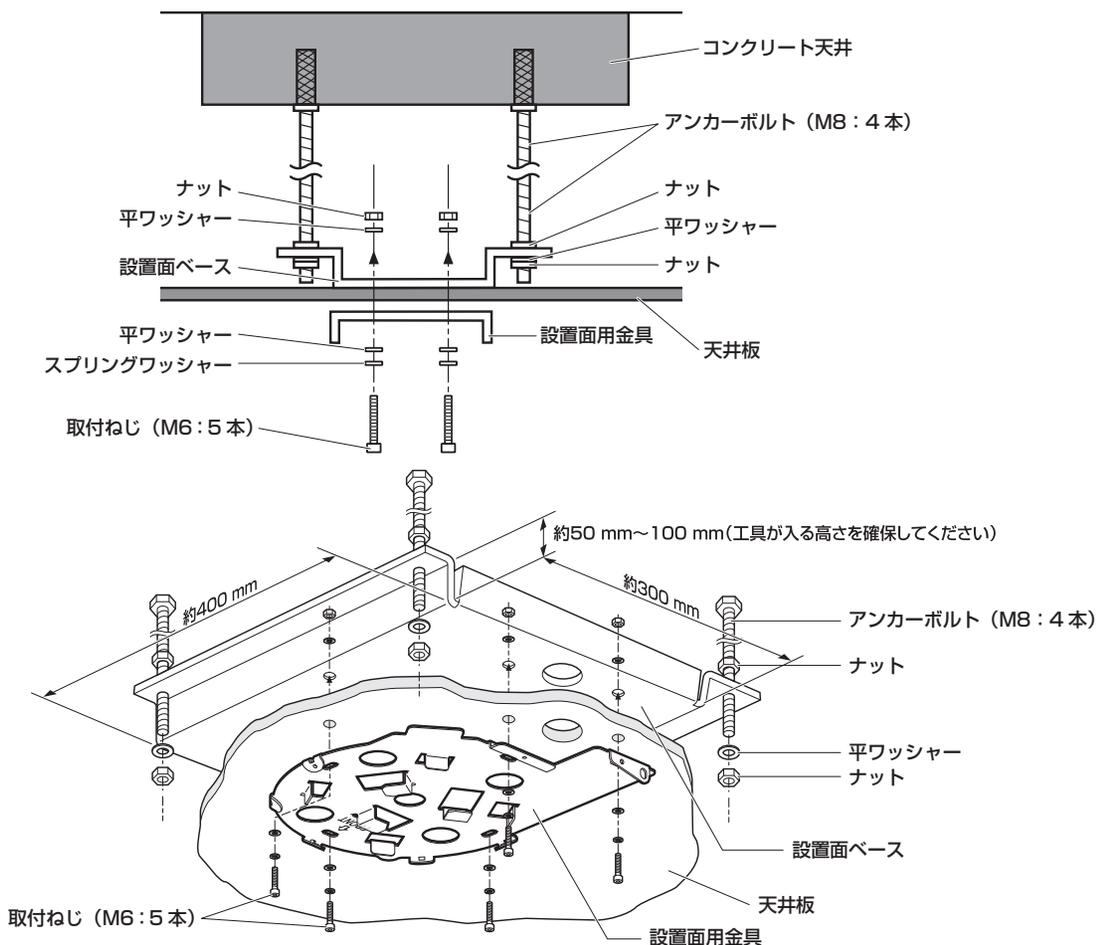
2 設置面ベースを取り付ける

- 設置面ベースは、設置場所に合わせて用意してください。
- 設置面ベースは、60 kg の負荷に十分耐えられる強度のものを用意してください。
- 必ずナットと平ワッシャーを使い確実に取り付けてください。

3 天井板に設置面用金具（付属品）の取付孔を開ける（金具図面参照）

4 設置面用金具を、天井板を間に挟んだ状態で設置面ベースに取り付ける

- 取付ねじ（M6 ねじ：5本）は、天井板と設置面ベースの厚さを考慮した上で、十分な長さのあるものを用意してください。
- スプリングワッシャー、平ワッシャー、ナットを用意して、確実に取り付けてください。



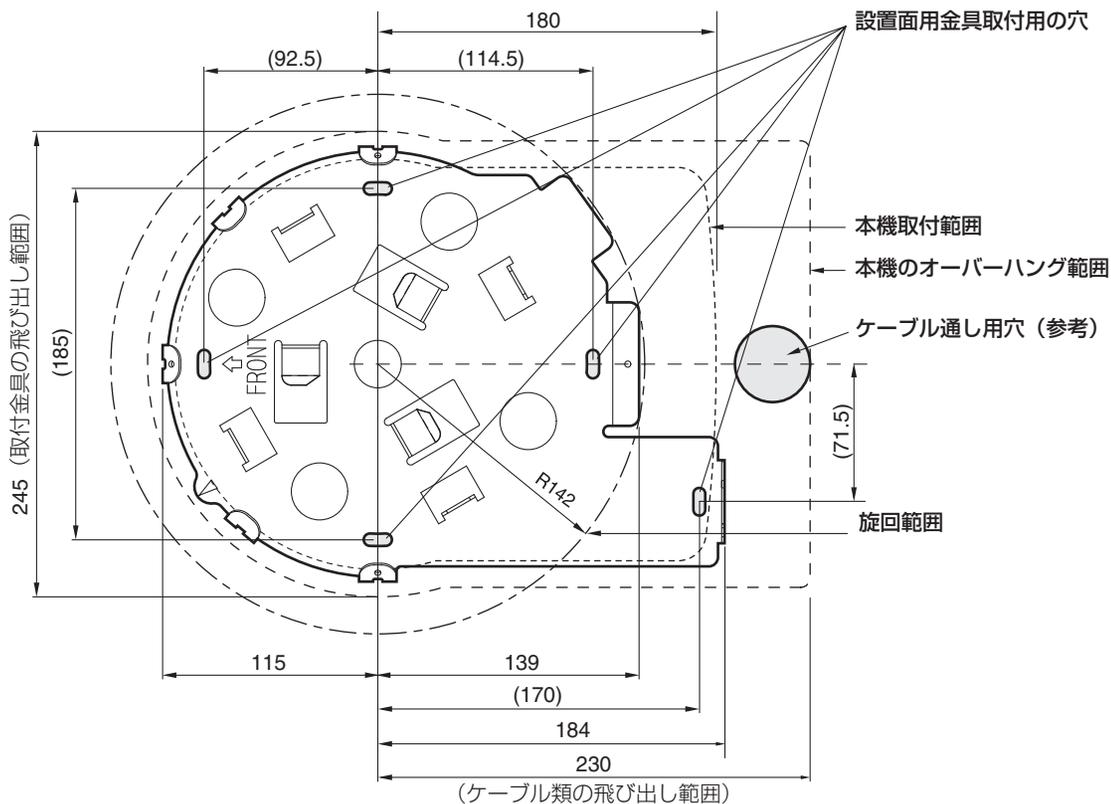
設置

■ 締付トルクについて

- ねじの締付トルクは、右の表に基づき、所定の工具・スプリングワッシャー・平ワッシャー・ナットを使って、確実に取り付けてください。

ねじ径	締付トルク
M6	490N・cm (50 kgf・cm)
M8	784N・cm (80 kgf・cm)

- 設置面用金具の「↑ FRONT」表示を撮影する方向に向けます。
- 本機の背面にケーブル類が接続されることや本機の旋回範囲を考慮して、周囲に十分なスペースを確保してください。
- 下図中の () 表示は、設置面用金具の取り付け位置の寸法になります。取付ねじ穴の位置を確認してください。



単位：mm

設置

■ 本機を設置する

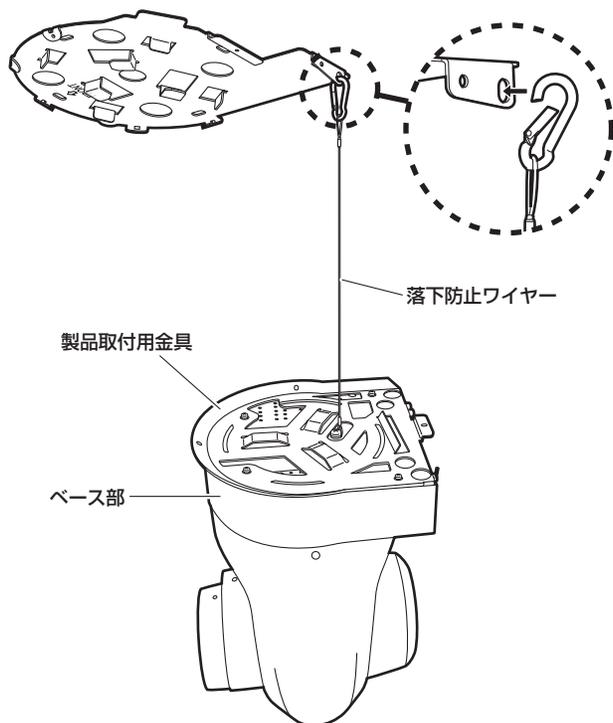
- 本機の底面に製品取付用金具と落下防止ワイヤーが取り付けられていることを確認してください。
- 設置作業は、本機の重量を考慮しながら、設置安全のため所定の強度・高さを確保できる脚立などを準備し、落下などさせないように、十分に注意をしてください。
- 設置作業時は、必ず本機のベース部分を持ってください。レンズ部分や回転部分を持って作業を行うと故障の原因となります。
- 2人での設置作業をお願いします。

1 落下防止ワイヤーを取り付ける

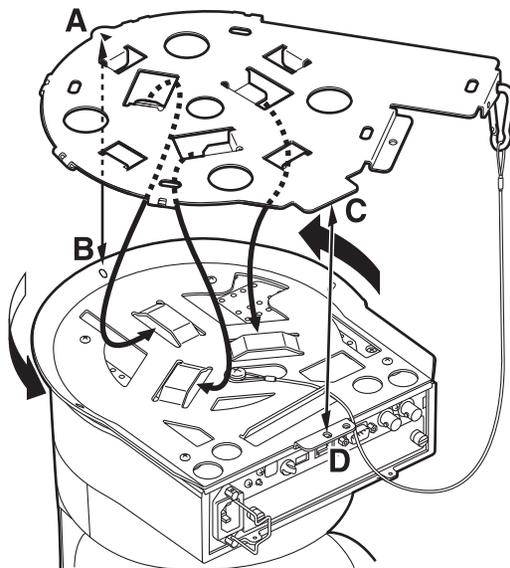
本機を抱えながら、落下防止ワイヤーのフックを設置面用金具に取り付けます。

ワイヤーを引いてみて、先端のフック金具が確実に設置面用金具の穴に入り込んでいることを確認してください。

ワイヤーは、製品を吊り下げることを想定し設計されていますので、それ以外の負荷を加えないでください。



2 設置面用金具の▲印(A部)と製品取付用金具の穴(B部)、設置面用金具の突起部(C部)と製品取付用金具の突起部(D部)を合わせる



3 本機を矢印の方向にまわす

設置面用金具と製品取付用金具が正しくかみ合っていることを確認してください。

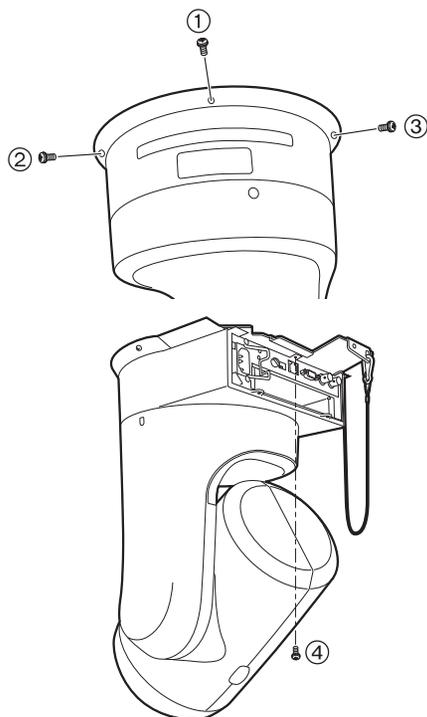
必ず、止まる所までまわしてください。途中の状態のままですと金具どうしの連結が不十分となり、落下のおそれがあります。

4 本機をねじで固定する

付属のねじ（M4、平ワッシャーとスプリングワッシャー付き）を使います。

①～④の順番にねじを取り付けて仮固定します。

4個所とも、ねじ止めが確認できましたら、確実にねじを締めつけてください。



5 落下防止ワイヤーのフックが設置面用金具に確実に取り付けられていることを再度確認する

6 ケーブル類を接続する

D-sub コネクターは必ず、ケーブル抜け防止用のねじを確実に締めつけてください。

電源ケーブルは必ず、抜け防止用の金具で固定してください。

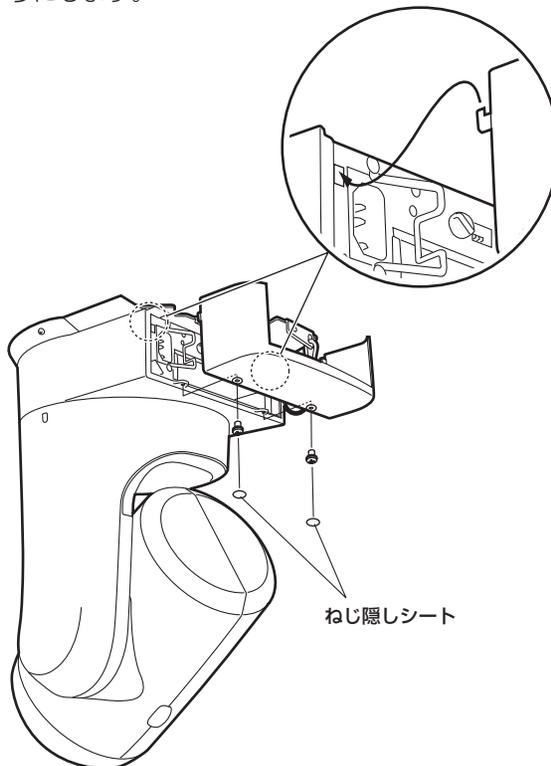
7 ケーブルカバーを取り付ける

ケーブルカバーの爪2個所を、背面パネルの取り付け用の穴にはめ込みます。

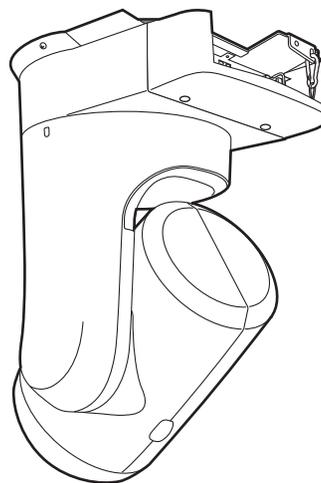
付属のねじ（M3 皿ねじ、2本）を使って固定します。

8 ねじ隠しシートを貼り付ける

付属品のねじ隠しシートを貼って、ねじが見えないようにします。



落下防止ワイヤーは長さに余裕がありますので、ケーブルカバー内に収納してください。



設置

■ 固定をしない据え置き設置について

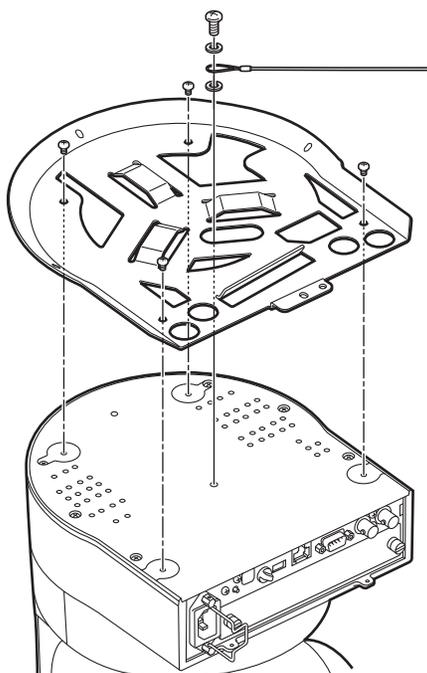
ゴム脚（付属品）を取り付けて、床などに設置をすることができます。

1 落下防止ワイヤーを外す

ねじ 1 本を外します。

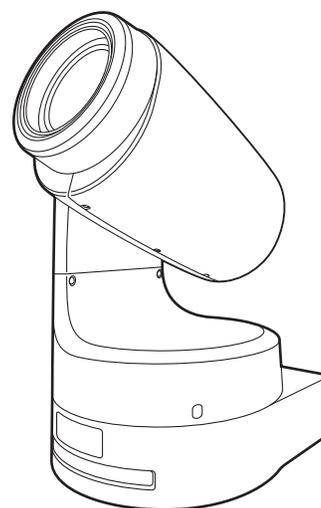
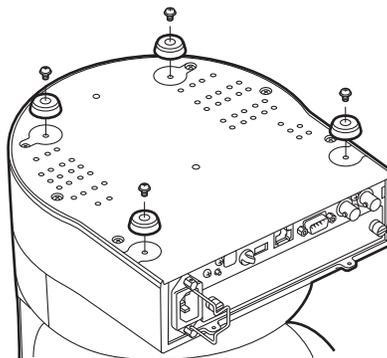
2 製品取付用金具を外す

ねじ 4 本を外します。



3 ゴム脚を取り付ける

付属のねじ（黒色）でゴム脚を取り付けます。



ご注意

- 固定をしない据え置き設置をする場合、設置場所から落下しないよう、十分注意をしてください。

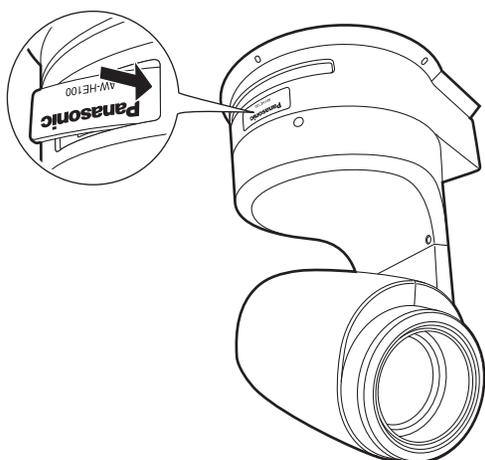
設置

■ ネームプレートの向きを変える

本機を天井に取り付けると、ネームプレートが逆さまになってしまいます。

本機のネームプレートは、向きを変えることができます。

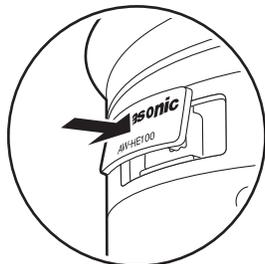
- 1 矢印の部分を押し込んで、ネームプレートを引き出す



- 2 ネームプレートの向きを変える



- 3 ネームプレートを押し込む



設置

■ 本機の取り外し

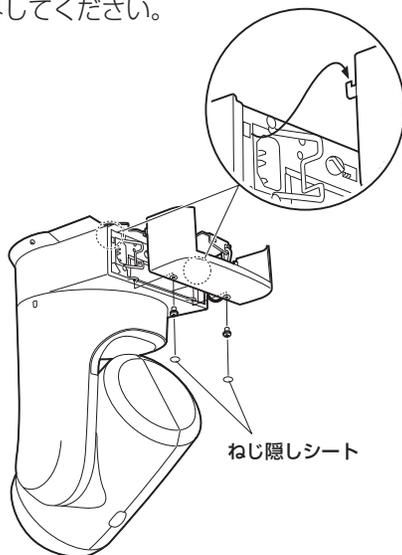
ここでは、吊り下げ設置の取り外しの手順で説明していますが、据え置き設置の場合も同じ要領です。

- 取り外す前に、ブレーカーなど電源供給を切ってから作業してください。
- 本機の底面に落下防止ワイヤーが取り付けられています。取り外しの際にはご注意ください。
- 作業は、本機の重量を考慮しながら、安全のため所定の強度・高さを確保できる脚立などを準備し、落下などさせないように、十分に注意をしてください。
- 作業時は、必ず本機のベース部分を持ってください。レンズ部分や回転部分を持って作業を行うと故障の原因となります。
- 必ず2人での作業をお願いします。

1 ケーブルカバーを取り外す

ねじ隠しシートを取ってから、ねじ2本を外し、ケーブルカバーを取り外してください。

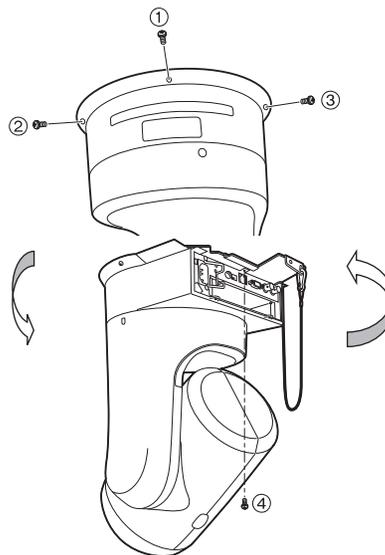
ケーブルカバーにはツメがあります。下に引くようにして外してください。



2 ケーブルを取り外す

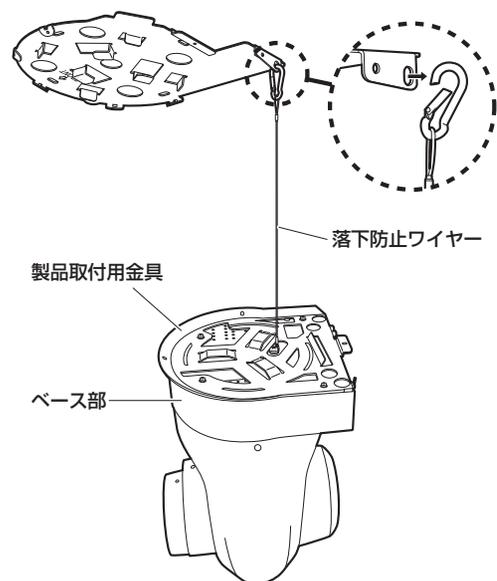
電源ケーブル、映像ケーブル、制御ケーブルなどを取り外してください。

3 本体固定ねじ（4か所）を取り外す



4 上図の矢印方向へ本体を回し、外す

5 本体を持ちながら、落下防止ワイヤーのフックを外す



6 天井の取付金具を取り外す

セーフモード

■ セーフモードについて

本機は、人や物への危害、本機の損傷を防止するため、2種類のセーフモードを備えています。セーフモードになると、一部またはすべての操作を受け付けなくなります。

1 衝突時のセーフモード

パンやチルト操作の際に本機が人や障害物に衝突すると、「衝突時のセーフモード」になり、衝突方向のパンおよびチルトの動作を中止します。

「衝突時のセーフモード」を解除するには、パンおよびチルトの操作を中立位置に戻します。

2 機器異常時のセーフモード

内部が故障した場合、「機器異常時のセーフモード」になり、機能を停止して状態表示ランプを赤色に点灯します。

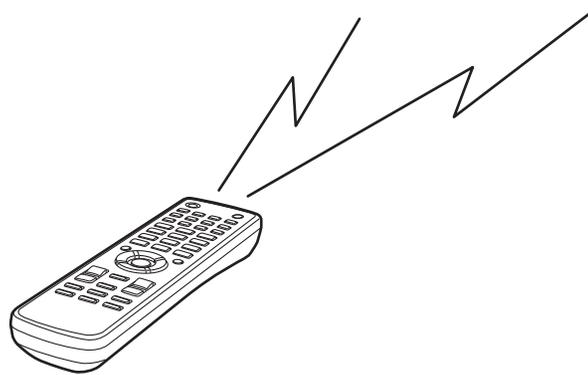
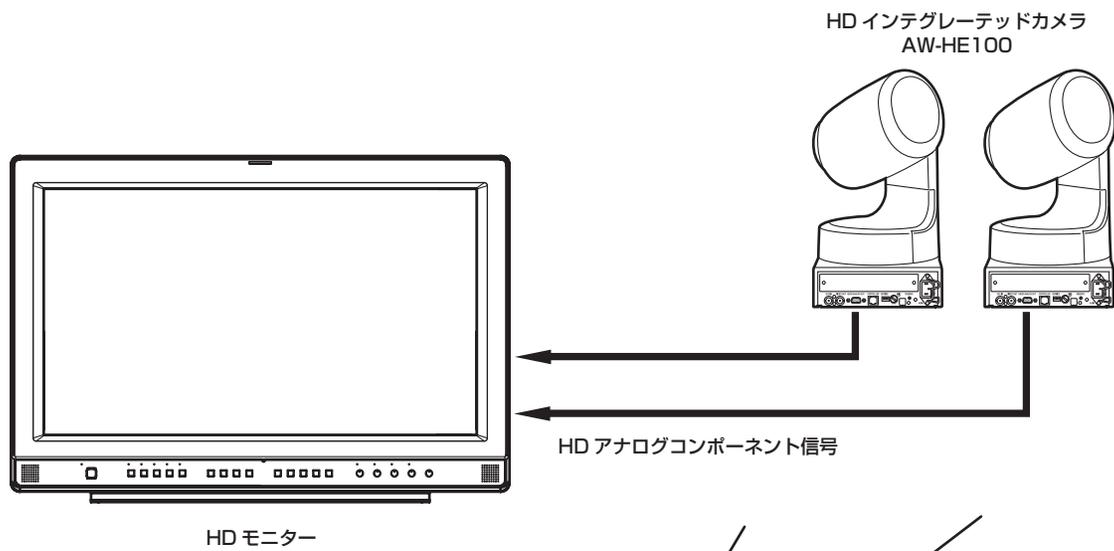
「機器異常時のセーフモード」を解除するには、いったん待機状態（STANDBY）にしたあと、再び電源を入れます。（再度内部故障と判断した場合は、再び「機器異常セーフモード」になります。）

ご注意

- 本機が人や障害物に衝突しセーフモードになると、映像が出力されなくなることがありますが、5～10秒で復帰します。

接続

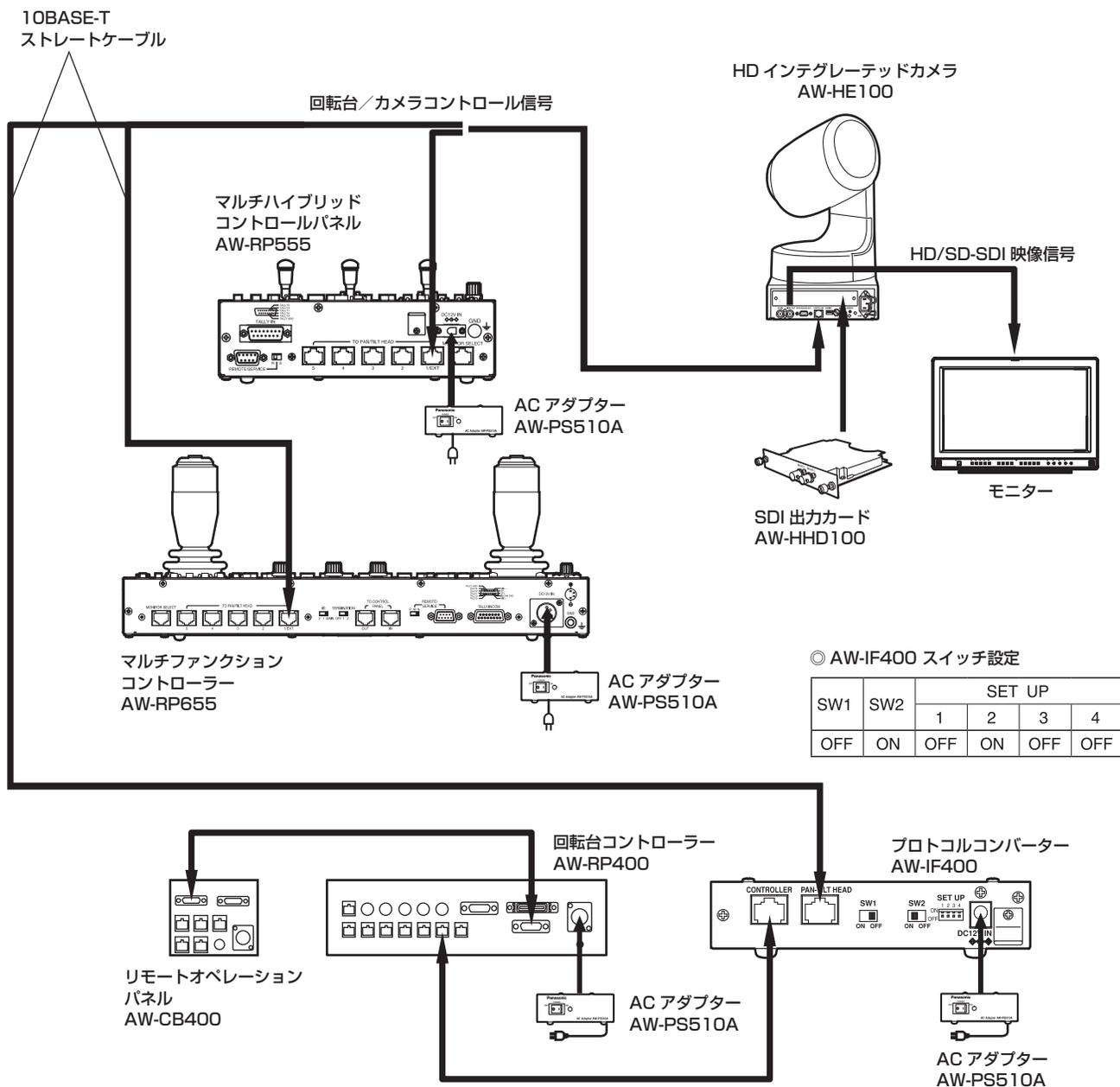
■HD モニターとの接続



ワイヤレスリモコン（標準付属品）
1台のリモコンで最大4台まで操作可能

接続

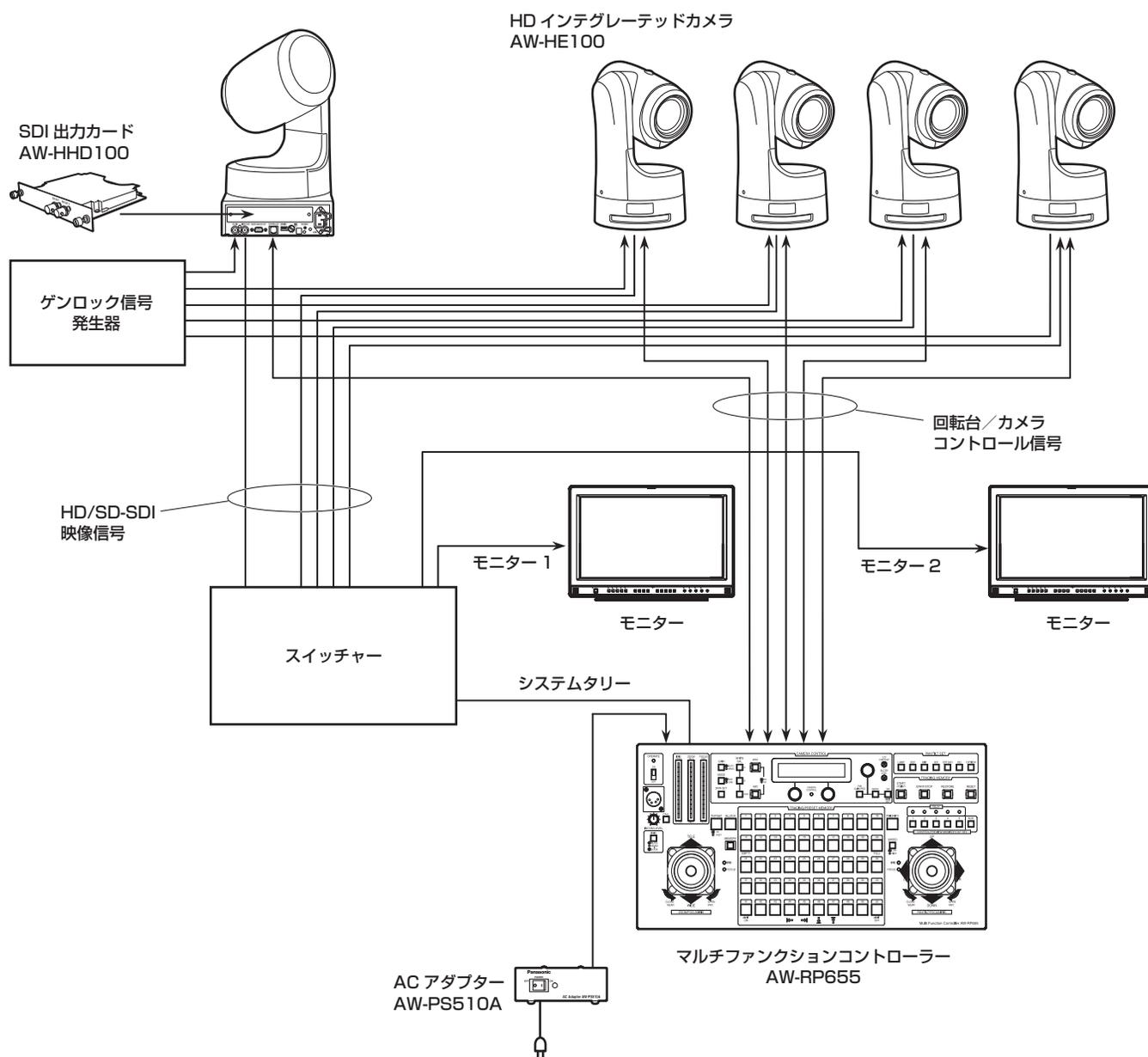
■コントローラー（AW-RP655/AW-RP555/AW-RP400 のいずれか）との接続



※ HD/SD-SDI の出力には、オプションの SDI 出力カード AW-HHD100 を使用します。
（本機のオプションスロットに取り付けます。）

接続

■ システム例



※ HD/SD-SDI の出力には、オプションの SDI 出力カード AW-HHD100 を使用します。
(本機のオプションスロットに取り付けます。)

本機を選択

付属のワイヤレスリモコン 1 台で、本機を最大 4 台まで操作することができます。
1 台のコントローラーからは、最大 5 台の本機を操作することができます。

ワイヤレスリモコンまたはコントローラーから操作したい本機を選択してください。
本機を 1 台で使用する場合でも、必ず選択をしてください。

付属のワイヤレスリモコンで操作する場合

[CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押す

本機の状態表示ランプは、リモコン ID が一致する信号を受信したときは緑色に点滅し、リモコン ID が異なる信号を受信したときは橙色に点滅します。

コントローラーで操作する場合

AW-RP655 を接続している場合：

[CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押す

AW-RP555 を接続している場合：

[CONTROL] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押す

AW-RP400/AW-CB400 を接続している場合：

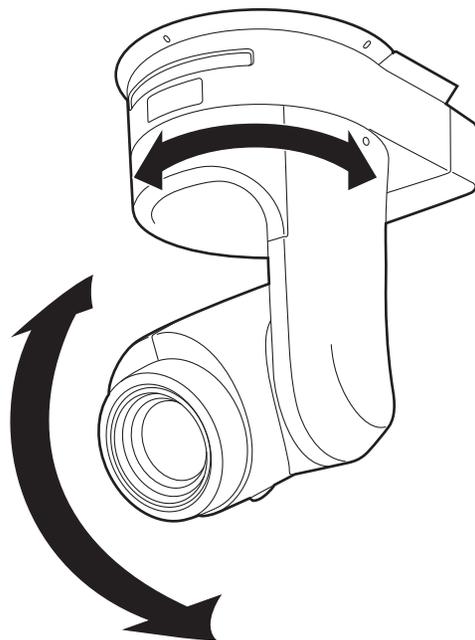
[CONTROL SELECT] の [1] ~ [5] ボタンのいずれかを押す

- AW-RP400 と AW-CB400 の両方から操作できますが、設定によって片方しか操作できない場合があります。

詳しくは、コントローラーの取扱説明書をご覧ください。

リミッターについて

本機には、パン・チルトの可動範囲を制限する設定（リミッター）があります。
設置場所によっては、可動範囲内に障害物があり本機が接触する場合があります。
本機が障害物に接触していると、故障や事故の原因になります。
このような場合、障害物の手前でリミッターを設定することにより、接触を防ぐことができます。
リミッターの位置は、可動範囲の上限・下限・左限・右限の4箇所が設定できます。
一度設定されたリミッター位置は、電源を切っても消えません。



リミッターの設定と解除は、付属のワイヤレスリモコンとコントローラーの両方で行うことができます。
最後に行った設定または解除が優先されます。

コントローラーの操作については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。
ここでは、付属のワイヤレスリモコンを使ったリミッターの設定について説明します。

リミッターの設定と解除

■ リミッターの基本操作

1 [MENU] ボタンを押す

短く押してください。2 秒間押すとメニューが表示されます。

その場合は、再度 [MENU] ボタンを 2 秒間押して、メニューを終了してください。

そのあと手順 1 からやり直してください。

2 [PRESET] ボタンを押しながら、[▲][▼][◀][▶] ボタンのいずれかを 2 秒間押す

それぞれ上限、下限、左端、右端のリミッターの設定（または解除）を行います。このときタリーランプが点滅します。設定のときは 1 回点滅し、解除のときは 2 回点滅します。

手順 1 と 2 の間に他のボタン操作を行った場合は、手順 1 からやり直してください。

■ リミッターの設定

以下の手順でリミッター位置を設定することができます。設定すると、タリーランプが 1 回点滅します。

1 [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押して本機を選ぶ

● 可動範囲の上限位置を設定

ワイヤレスリモコンの [▲] または [▼] ボタンを押し、上限位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▲] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の下限位置を設定

ワイヤレスリモコンの [▲] または [▼] ボタンを押し、下限位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▼] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の左端位置を設定

ワイヤレスリモコンの [◀] または [▶] ボタンを押し、左端位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [◀] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の右端位置を設定

ワイヤレスリモコンの [◀] または [▶] ボタンを押し、右端位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▶] ボタンを 2 秒間押します。

■ リミッターの解除

設定されているリミッター位置を、以下の手順で解除することができます。

解除すると、タリーランプが 2 回点滅します。

1 [CAM1] ~ [CAM4] ボタンのいずれかを押して本機を選ぶ

2 以下の方法でリミッターを解除する

● 可動範囲の上限位置を解除

「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▲] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の下限位置を解除

「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▼] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の左端位置を解除

「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [◀] ボタンを 2 秒間押します。

● 可動範囲の右端位置を解除

「リミッターの基本操作」を行い、[PRESET] ボタンを押しながら [▶] ボタンを 2 秒間押します。

■ リミッターの再設定

リミッターの再設定をするには、現在設定されている設定を解除する必要があります。

設定されているリミッター位置を以下の手順で再設定することができます。

1 再設定したいリミッター位置の設定を、「リミッターの解除」の手順で解除する

2 「リミッターの設定」の手順で、リミッター位置を設定する

故障と思ったら

●操作関係

症 状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	● 電源プラグが AC コンセントに確実に接続されていますか？	---
	● 電源プラグが正しく接続されていますか？	---
	● コントローラーと接続している場合、正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。	P.34 ~ 35
	● ワイヤレスリモコンで操作の場合 → 「ワイヤレスリモコンで操作できない」の項目もご覧ください。	---
操作できない (ワイヤレスリモコン、 コントローラー共通)	● 電源は入っていますか？ → 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯の場合は、 本機の電源が入っていません。	P.19
	● 操作したい本機を正しく選んでいますか？	P.36
	● セーフモード機能が働いている場合があります。	P.32
	● リミッター機能を設定していませんか？	P.37 ~ 38
	● 以前にメニュー項目の「Controller」（コントロール機器からの制御受付の選択）を変更していませんか？ → 参照ページの手順にしたがって設定を変更してください。	取扱説明書 P.51
ワイヤレスリモコンで 操作できない	● 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ → ワイヤレスリモコンをワイヤレスリモコン信号受光部の近くで 操作しても、状態表示ランプが点滅しない場合は、電池が消耗 しています。電池を交換してください。	---
	● 本機の近くに蛍光灯やプラズマモニターがあり、それらからの光がワ イヤレスリモコン信号受光部に当たっていませんか？	P.9
コントローラーで 操作できない	● コントローラーと正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。	P.34 ~ 35
	● コントローラー選択スイッチは正しく選択されていますか？ → スイッチ設定を確認してください。 → コントローラーの取扱説明書も参照してください。	P.34 ~ 35
	● 本機に対応するためにコントローラーのバージョンアップが必要な場 合があります。 → 販売店にご相談ください。	---
	● AW-RP400 と AW-CB400 の組み合わせでは、どちらかの操作を 禁止する設定がされている場合があります。 → コントローラーの取扱説明書を参照してください。	---
操作と逆方向に回転 する	● 据え置き設定は正しく選択されていますか？	P.24
	● 映像自動逆転の機能によって映像が逆転したときは、操作と逆方向に 回転するように見えます。	取扱説明書 P.51
	● コントローラーと接続している場合、コントローラー側で逆転の設定 がされている場合があります。 → コントローラーの取扱説明書を参照してください。	---

故障と思ったら

●映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
映像が出ない、乱れる	● 接続した機器と正しく接続されていますか？	P.33 ~ 35
	● 操作するカメラを選ぶと映像も切り替えるシステム構成の場合、カメラを正しく選んでいますか？	P.36
	● 映像信号設定は正しく選択されていますか？	P.21 ~ 23
映像が上下逆になる	● 据え置き設定は正しく選択されていますか？	P.24
	● 映像自動逆転の機能がはたらいっていませんか？	取扱説明書 P.51
複数の色の帯（カラーバー）が表示される	● カメラ映像に切り替えてください。	取扱説明書 P.26
メニュー画面が表示される	● メニューを終了してください。	取扱説明書 P.43 ~ 50
自動でフォーカスが合わない	● フォーカスがマニュアル設定になっていませんか。 → フォーカスをオート設定にすると自動でフォーカスが合います。	取扱説明書 P.26
	● 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はマニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。	取扱説明書 P.28
映像の色がおかしい	● ATW（自動追尾式ホワイト調整）を有効にしてください。	取扱説明書 P.35
	● 場面によっては ATW では正しい色にならない場合があります。 → その場合はホワイトバランス調整を行ってください。	取扱説明書 P.34
映像が明るすぎる、または暗すぎる	● アイリスをオート設定にするか、マニュアル設定にして手動で調整してください。	取扱説明書 P.28
	● 映像信号用ケーブルが長いと、信号の減衰のために映像が暗くなる場合があります。 → その場合はケーブル補償器（AW-RC400 など）を接続してください。	---

お手入れのしかた

製品の安全性と性能を維持するために、以下のお手入れを定期的実施してください。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いてください。
- レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラなどの清掃につかうもの）で行ってください。

お願い

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

警告

■お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、冷めてから行う



電源プラグ
を抜く

感電・やけど・けがをすることがあります。また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

消耗品の交換

ベルトは消耗品です。
定期的な交換が必要です。

交換は、販売店にご相談ください。

■ベルトの交換

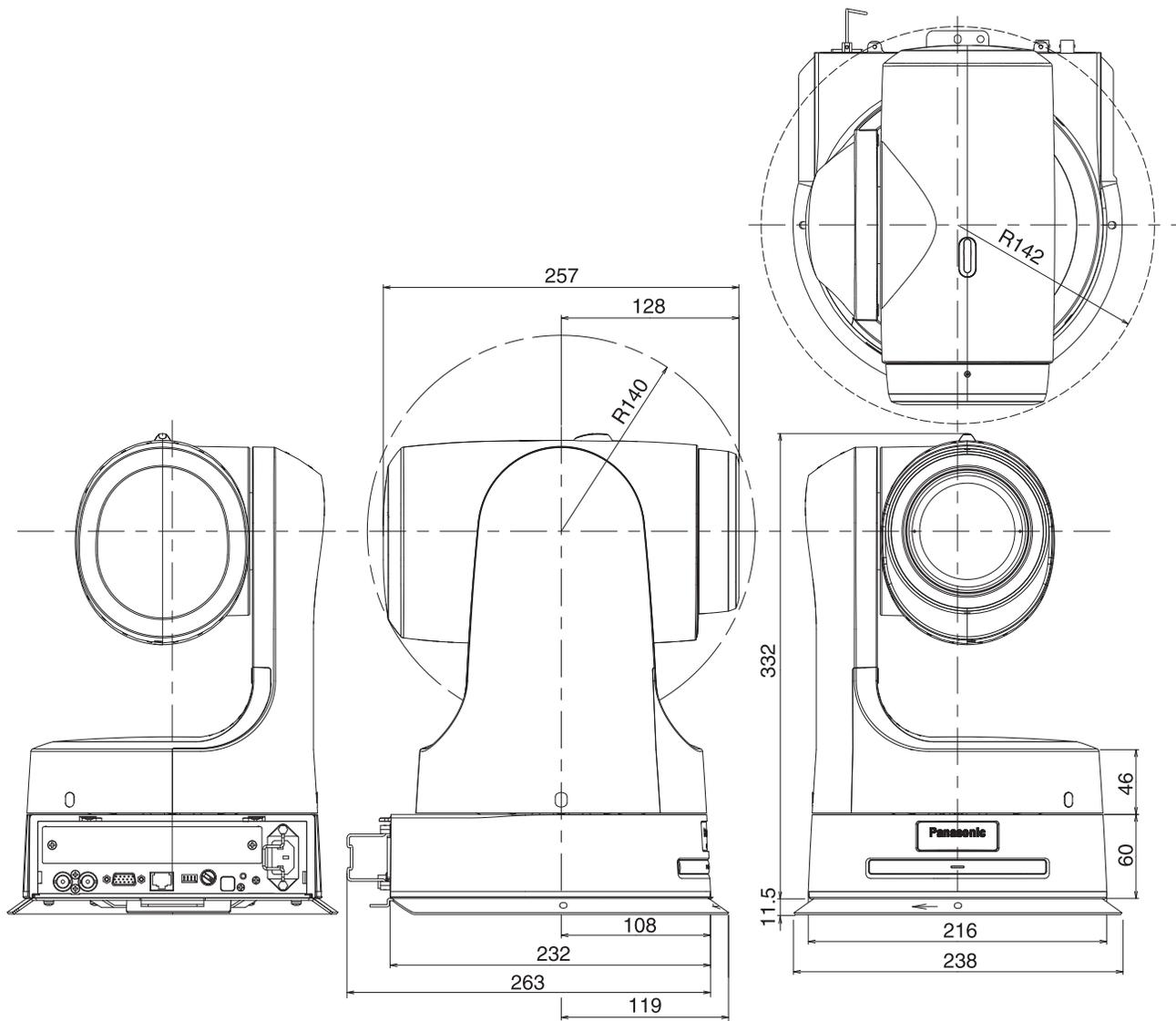
交換のめやすは約4年です。

（一日8時間の使用で、10秒間のパン・チルト操作と50秒間の停止を繰り返した場合）

プリセットメモリーの停止精度が劣化した場合は、交換してください。

外形寸法図

単位：mm



定格

電 源： AC 100 V ~ 240 V、50/60 Hz

消費電力： 約40 W

 は安全項目です。

■総合

動作温度	: 0 °C ~ +40 °C
保存温度	: -20 °C ~ +50 °C
許容湿度	: 85 %以下 (結露なきこと)
質量 (重量)	: 約 7.5 kg
寸法 (幅×奥行×高さ)	: 238 × 257 × 343.5 mm (突起部含まず)
仕上げ	: つや消しライトシルバー
対応コントローラー	: AW-RP655、AW-RP555、AW-RP400、AW-IF400、AW-CB400 ● コントローラーは、本機に対応するためのバージョンアップが必要な場合があります。

■入力

入力端子	: AC100 V ~ 240 V (50/60 Hz)、 G/L IN (BNC) ● BBS または VBS に対応
------	--

■出力

出力端子	: コンポジット : 1.0Vp-p/75 Ω (BNC × 1)、 HD/SD アナログコンポーネントまたは SD Y/C (VGA 15P × 1) ● Y/C は SD モード時のみ、Y/Pb/Pr との切替はメニュー切替 Y/Pb/Pr 出力時は SD/HD 選択可能
------	---

■入出力

入出力端子	: CONTROL IN RS422A (RJ-45)
-------	-----------------------------

■機能／性能

【カメラ部】

撮像素子	: 1/3 型 CCD 撮像素子 × 3 (インターライン型、プログレッシブ対応)
レンズ	: 電動 13 倍ズーム F1.6 ~ 2.8 (f=4.2 ~ 55 mm 35 mm 換算 : 32.5 mm ~ 423 mm)
フォーカス	: オート / マニュアル切替
色分解光学系	: プリズム方式
ゲイン切替	: 0 ~ 12 dB ステップ、15 dB、 18 dB、AGC (AGC ON 時は常にアイリスは自動)
電子シャッター	: 1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒、 シンクロスキャン (60.04 ~ 248.82 Hz)
ガンマ	: Low、Normal、High

定格

ホワイトバランス	: AWC A、AWC B、ATW、3200K、5600K
ブラックバランス	: オート
クロマ量可変	: 7 段階可変
撮影モード (シーンファイル)	: ハロゲンライト、蛍光灯、デイライト、ユーザー
カラーバー	: SMPTE (SD モード時)、FULL BAR (HD モード時)
出力フォーマット	: HD: 1080:59.94i、720:59.94p SD: 480:59.94i、29.97psF
映像出力	: ・コンポジット: 1.0 Vp-p/75 Ω (BNC × 1) ・HD/SD アナログコンポーネントまたは SD Y/C (VGA 15P × 1) Y/Pb/Pr Y: 1.0 Vp-p/75 Ω、Pr・Pb: 0.7 Vp-p/75 Ω (VGA 15P × 1) Y/C Y: 1.0 Vp-p/75 Ω、C: 0.286 Vp-p/75 Ω (バースト) 480:59.94i、 29.97psF 時 ※ Y/Pb/Pr 時、HD・SD を選択できます。 ※ SD 時、Y/Pb/Pr か Y/C を選択できます。 ※ Y/C 時、VGA 15P 出力端子の Y には VBS 信号、Pb に Y 信号、 Pr に C 信号が出力されます。 ※ SETUP はコンポジット、Y/C 時のみ選択できます。ほかの信号には SETUP は ありません。
同期方式	: 内部 / 外部同期 (BBS または VBS BNC × 1)

【回転台部】

据付方法	: 据え置きまたはつり下げ ※安全のため、付属ブラケットにて固定が必要です。 設置は必ず工事業者へ依頼してください。
コントローラー接続	: 接続ケーブル: 10BASE-T ストレートケーブル (UTP カテゴリー 5)、 最大 1000m (制御のみ: 映像信号の延長には外部機器などでの対応が別途必要です) プロトコル: RS422A AW シリーズプロトコル
パン範囲	: ±175°
チルト範囲	: -40° ~ +210°
動作速度	: 最大 60°/s
騒音レベル	: NC30 (30°/s 動作時)、NC35 (60°/s 動作時)

【ワイヤレスリモコン】

電源	: 単 3 形乾電池 (別売) 2 個
使用可能電池	: 単 3 形、AA、R6、R6P、R6PU、UM3、LR6
操作距離	: 約 10 m 以内
質量	: 約 90 g (乾電池を除く)

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お
買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読
みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このHDインテグレートドカメラの補修用性
能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する
ために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連
絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	HDインテグレートドカメラ
品番	AW-HE100N
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望によ
り修理させていただきます。下記修理料金の仕組み
をご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成さ
れています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・
調整・修理完了時の点検などの作業に
かかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代
です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所
へ技術者を派遣する場合の費用です。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社

システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-878-410 受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは <http://panasonic.biz/pss/info>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	AW-HE100N
	販売店名	電話（ ）	—			

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号